

第2回北海道地域学校協働活動推進研修会（道東会場）

【道東】平成29年10月19日（木）（帯広市・十勝合同庁舎） 参加者：145名

1 説明「地域学校協働活動等について」

説明者 学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ 主査 石田 貴宏

「北海道における学校支援地域活動など各事業の現状」、「放課後子ども総合プラン」、「放課後子供教室と放課後児童クラブの一体型や連携型の取組事例」について説明がありました。

参加者からは、「放課後子ども総合プランの概要について知ることができました」、「地域学校協働活動について理解を深めることができました」、「一体型や連携型の取組について関心を持ちました」などの感想が寄せられました。



2 事例発表「帯広市における教育支援活動の取組について」

発表者 帯広第五学校支援地域本部 帯広市立緑丘小学校 教頭 新川 和範氏
帯広市学校支援アドバイザー 保前 明美氏

帯広市の緑ヶ丘地区で実施している学校支援地域本部についての事例報告では、学校支援地域本部コーディネーターが、地域の団体やボランティアと連携し、地域全体を巻き込んだ子育て環境を作り出していることなどの説明がありました。

参加者からは、「地域全体で学校を支援していることがよくわかりました」、「『よんかけ』の心が大切だということがわかりました」、「子どもたちのために学校を核として地域がつながることの大切さを理解しました」などの感想が寄せられました。



3 コーディネーター研修

講師 学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ 主査 石田 貴宏

演習をとおして、地域コーディネーターの役割や具体的な活動にかかわる課題解決に向けたグループワークをするとともに、円滑に活動を進めるためのコミュニケーションスキルについて、参加者同士で体験をしながら学びました。

参加者からは、「各地域でのコーディネーターの取組について参考になりました」、「コーディネーターの役割にかかわり課題解決するための方法を学ぶことができました」などの感想が寄せられました。



4 情報交流「子どもたちのために、私たちができること」

進行 十勝教育局教育支援課社会教育指導班 社会教育主事 休宮 裕貴

参加者が小グループに分かれ、それぞれの立場で、地域での日頃の実践や課題等を共有し、課題解決に向けて何ができるかを協議しました。

参加者からは、「他市町村の取組や工夫している話を聞いて勉強になりました」、「普段話すことのできない方との情報交流はすごく有意義でした」などの感想が寄せられました。



5 講義「子どもの貧困の状況および北海道の対策」

講師 十勝総合振興局保健環境部社会福祉課子ども育て支援室 子ども育て支援係長 七 條 公 英
帯広市教育委員会学校教育課学校指導室 教育相談員 若 菜 順 氏

前半は、「北海道の子どもの貧困の現状」、「子どもの生活実態調査結果の概要」、「北海道子どもの貧困対策推進計画」について説明がありました。

後半は、市民のボランティア団体による「おびひろ子ども食堂」の取組について紹介がありました。

参加者からは、「子どもの貧困について課題を見つけられたような気がしました」、「食の大切さ、居場所づくりの大切さが分かりました」、「子ども食堂の活動がよくわかりVTRもすごく良かったです」などの感想が寄せられました。



6 選択研修「資質向上のためのスキルアップ」

A 演習「子どもの体力向上につながるプログラム」

講師 NPO 法人幕別札幌内スポーツクラブ「Spo-RE(スポーレ)」
クラブマネージャー 小 田 新 紀 氏

子どもの体力向上につながる簡単な運動種目や、身の回りにある物を道具として使用した種目、限られた活動スペースの中で手軽に行える種目などが紹介され、実際に体験しました。

参加者からは、「子どもと楽しめる運動遊びを知れてよかったです。楽しむことが一番大切だということが分かりました」、「ボールなども使い、とても楽しかったです。子どもたちと一緒に運動遊びをやりたいと思いました」などの感想が寄せられました。



B 演習「創作活動プログラム」

講師 道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄 社会教育主幹 吉 田 昌 幸 氏

新聞紙やフィルムケースなどの身近な材料を使って、短時間で簡単にできる「新聞スリッパ」、「フィルムケースロケット」などを制作しました。

また、子どもの発想を広げるための働きかけや創作活動全般における安全面での留意点について説明がありました。

参加者からは、「身近な道具や物を使って、楽しめるものを作れることがよかったです」、「フィルムケースのロケットは安全面を考慮してやってみたいです」などの感想が寄せられました。



C 演習「音楽・リズムを楽しむプログラム」

講師 米澤音楽事務所 代表 米 澤 倫 子 氏

参加者が輪になって座り、はじめに、講師が用意した楽器を使って即興の演奏を行いました。参加者は、思い思いのリズムで音を奏で、身体全体で音楽を楽しみました。

参加者からは、「初めてのことでしたがとても楽しく、帰ってから実現したいと思います」、「手作り楽器で踊りを楽しむことができそうです」、「自分の町でも取り入れてみたいと思いました」などの感想が寄せられました。

